

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
外国語	
科目名	英語①

採 点	/ 50
--------	------

受 験 番 号

(時間 ①と②合わせて80分)

問. 下記の文章を和訳しなさい。

PROFIT MAXIMIZATION

Notwithstanding this rich variety of motives, most goods and services that are offered for sale in a market economy are sold by private firms whose main reason for existing is to earn profit for their owners. A firm's profit is the difference between the total revenue it receives from the sale of its product and all costs it incurs in producing it.

A profit-maximizing firm is one whose primary goal is to maximize the amount of profit it earns. The supply curves that economists use in standard supply and demand theory are based on the assumption that goods are sold by profit-maximizing firms in perfectly competitive markets, which are markets in which individual firms have no influence over the market prices of the products they sell. Because of their inability to influence market price, perfectly competitive firms are often described as price takers.

[ellipsis]

The market for wheat closely approximates a perfectly competitive market. The market for operating systems for desktop computers, however, does not. More than 90 percent of desktop operating systems are sold by Microsoft, giving the company enough influence in that market to have significant control over the price it charges. For example, if it were to raise the price of its latest edition of Windows by, say, 20 percent, some consumers might switch to Macintosh or Linux, and others might postpone their next upgrade; but many—perhaps even most—would continue with their plans to buy.

By contrast, if an individual wheat farmer were to charge even just 10 cents more than the current market price for a bushel of wheat, he wouldn't be able to sell any of his wheat at all. And since he can sell as much wheat as he wishes at the market price, he has no motive to charge less.

(Robert H. Frank and Ben S. Bernanke. PRINCIPLES OF MICROECONOMICS. 3rd ed. : McGraw-Hill/Irwin; 2007. Chapter 6, pp.169-170.)

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

A series of horizontal dotted lines for writing the answer on the reverse side of the page.

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	英語①
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

出題意図は、主に三点に纏められる。一つ目は、(民間)企業が経済活動を行う際の目的の1つである「利潤最大化」について理解しているのかを確認すること。二つ目は市場の違い(完全競争市場と独占・寡占市場)によって、企業行動が異なることを理解しているかを確認すること。三つめは、上述の経済・経営に関する基礎知識を踏まえたうえで、和訳できる英語力があるかについて確認することである。

「profit maximization」「supply and demand theory」「perfectly competitive market」「price taker」などの用語が含まれた問題文は、上述の出題意図を確認する上で適切なものと考えられる。

【解答例(採点時の観点)】

豊富な動機があるにも関わらず、市場経済において販売される殆どの財とサービスは、所有者の利益のために運営されている民間企業によって売り出されている。企業の利益は、生産物を販売することで得られる収益と、それを生産する際にかかる総費用との差から生み出される。

利潤最大化企業とは、利益を最大化することを主な目的とした企業のことである。経済学者が標準的な需要と供給理論において使用する供給曲線は、財は完全競争市場において利潤最大化するように販売されるとした想定に基づいている。完全競争市場では、個別機企業は、自社が販売する生産物の市場価格に対して、何ら影響を及ぼすことができない。企業は市場価格に対して影響を持たないので、完全競争企業は、しばしばプライステイカー(価格受容者)として記述される。

〔中略〕

小麦市場は、完全競争市場にほぼ近似する。その一方で、デスクトップパソコンのOS市場は、そうではない。デスクトップパソコンのOSの90%以上が、マイクロソフト社製である。そのことは、マイクロソフト社にOS市場における価格設定に十分な影響力を持たせることになる。例えば、マイクロソフト社が、最新のWindowsの価格を20%引き上げると発表したら、一部の消費者はマッキントッシュやリナックスに乗り換えるかもしれない。また一部の消費者はアップグレードすることを延期するかもしれない。しかし、殆どの消費者は、おそらく計画通り購入するであろう(20%価格が上昇したWindowsの最新版を買う)。

この事とは対照的に、ある小麦農家は、現在の市場価格よりも1ブシュエル当り僅か10セントでも価格を引き上げたら、全く小麦を売ることはできなくなるであろう。そして、小麦農家は、小麦の殆どを売ることができる市場価格を望み、価格を引き下げる動機もまた持たない。

第1期入試問題	
修士課程	一般入試
外国語	
科目名	英語②

著作権上の都合により掲載しておりません。

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

問2 本文では「電力需要の増加」に対していくつかの解決案が提示されているが、そのすべてを記しなさい

問3 下線部 ㊸に関して、「巨額投資に見合う経済性が乏しい」とはどういうことですか。具体的にわかりやすく説明しなさい

問4 下線部 ㊹に関して、筆者はこのような施策を打つことでどのようなメリットがあると考えているか答えなさい

問5 下線部 ㊺に関して、「カーボンゼロエネルギー」とはどういうものか。文中から該当するものをすべて書き出しなさい

この部分は記入しないこと。

※問6に訂正

問3 下線部㉔㉕㉖㉗㉘のそれぞれのよみかたをひらがなで書きなさい。

下線部 ㉔ :

下線部 ㉕ :

下線部 ㉖ :

下線部 ㉗ :

下線部 ㉘ :

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	日本語
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

本設問は、日経ニュースの社説の中から比較的平易な経営学分野と密接に関連する文章を選定し、大学院経営学研究科において展開される講義や研究活動に必要とされる日本語能力を有しているか否かを確認することを出題意図とする。具体的には、社会的問題を踏まえた文章の理解力、論旨を的確に把握する読解力を総合的に評価することを目的とし、読解力さえあれば、ほとんどの問いが文中の抜粋で回答できる比較的容易な内容としている。また類似の問いを数問出すことによって、大学院にて必要とされる日本語による文章作成能力も確認している。最後に基本的な用語の読みの正確性も評価した。

【解答例（採点時の観点）】

〔問1〕

電力需要の増加が安定供給と脱炭素の両立を難しくするのは、供給量の確保と電源の質的制約が同時に強まるためである。本文が示すように、生成AIやデータセンター、半導体工場は昼夜を問わず大量の電力を必要とし、安定した供給が不可欠である。一方、脱炭素電源の中心である再生可能エネルギーは、天候や時間帯によって出力が変動しやすく、需要増に即応しにくい。原子力発電も有力だが、安全性や社会的合意の面で拡大には時間がかかる。さらに、需要が集中する都市部と再生可能エネルギーが豊富な地方との立地の違いにより、送電網整備には高いコストが伴う。需要増を火力発電で補えば排出が増え、脱炭素と矛盾するため、両立は一層困難となる。

〔問2〕

- ・ 太陽光・風力など再生可能エネルギーの開発拡大や、原子力発電の再稼働による脱炭素電力の供給力強化。
- ・ 都市部と地方を結ぶ送電網・連系線の整備による電力融通の拡大。
- ・ データセンターや半導体工場など電力多消費型施設を、再生可能エネルギーが豊富な地域へ分散・立地させること。
- ・ 蓄電池や水素活用などにより再生可能エネルギーの変動を吸収し、需給の平準化と地産地消型エネルギー利用を進めること。

〔問3〕

「巨額投資に見合う経済性が乏しい」とは、電力需要の大きい都市と脱炭素電源に余裕がある地方を結ぶ連系線や送電網の整備に多額の資金を投じて、それに見合う十分な効果や利益が得られにくいことを意味する。連系線の整備は、災害に備えた供給網の強靱化につながる一方で、建設や維持に大きな費用がかかる。また、電力需要は常に一定ではなく、設備が十分に活用されない時間帯も生じるため、投資額に対して経済的な効率が低くなると考えられている。

〔問4〕

データセンターや半導体工場を北海道や九州など脱炭素電源の豊かな地域に集めることで、再生可能エネルギーを直接活用でき、都市部での電力不足や温室効果ガス排出の増加を抑えられる点がある。また、送電網や連系線への巨額投資を抑制しつつ、電力の地産地消を進めることが可能となる。さらに、関連産業を含めた新たな産業集積が地方に生まれ、地域振興や雇用創出につながり、脱炭素を軸とした持続的な地域活性化が期待できることなどがそのメリットとしてあげることができる。

〔問5〕

- ・ 太陽光発電
- ・ 風力発電
- ・ 再生可能エネルギーの余剰電力を用いて製造される水素
- ・ 再生可能エネルギーの余剰電力を蓄えた蓄電池
- ・ (原子力発電)

〔問6〕

- ㊸ でんりよくじゅよう
- ㊹ はんどうたいこうじょう
- ㊺ せんたくし
- ㊻ きょうきゅうもう
- ㊼ きぎょうゆうち

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

Blank lined area for writing the answer on the reverse side of the page.

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	日本語②
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

日本語の理解力について、経営学研究における専門性を考慮した設問とした。

【解答例（採点時の観点）】

サステナビリティに配慮した企業経営は日本のみならず、国際的に取り組まれていることから、日本企業だけでなく留学生の出身国の企業でも何らかの活動があると考えられる。どのような事例でも採点対象となる。

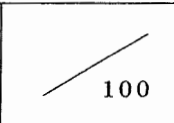
- ① 地球温暖化への取り組みとしては、省エネ・代替エネルギーの導入などが代表的な取り組み事例であるので、その記述が求められる。
- ② 生物多様性への取り組みとしては、地下水を利用する企業における水源林の確保、あるいは農林水産物・鉱物を起点とするサプライチェーン全体における生物多様性の確保の問題（乱獲・違法採掘、モノカルチャー（単一種の広範な栽培）、遺伝子組み換え品種の利用、化学合成農薬・肥料の多用、等）など、関係する企業は多い。
- ③ ダイバーシティへの取り組みとしては、国によってはその国の制度や規範、宗教上の問題により機微に触れる可能性もあるので、その点は考慮する。日本においては近年とくに男女の賃金格差や家事労働時間の男女格差が問題になっているし、障害者雇用に取り組む企業は法制度も後押しして一般的になっており、それらを記述することが可能である。

経営学研究において企業活動の実践内容や制度に着目すれば、何らかのサステナビリティ課題とのかかわりがあるはずであり、その論理展開が日本語として読み取れることが採点上の観点として重要である。

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	消費者行動論

採 点	
--------	---

受験番号

--

(時間 60 分)

問 今後、実店舗およびオンライン店舗が発展するためにはどうしたらよいかを以下の用語を全て用いて論述してください。

- ・顧客価値 ・機能的ベネフィット ・情緒的ベネフィット ・サービスベネフィット ・経験的ベネフィット
- ・金銭的コスト ・時間的コスト ・身体的コスト ・心理的コスト

この問題の出題者が海外研修期間に入っており、出題趣旨・解答例を示すことができません。

この部分は記入しないこと。

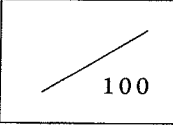
(裏面は、ここから解答すること)

A series of horizontal dotted lines for writing the answer on the reverse side of the page.

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	流通論

採 点	
--------	---

受験番号

(時間 60 分)

以下の問いにすべて日本語で解答せよ。解答の順番は自由。

1. 流通、物流、商流について、違いがわかるように説明せよ。
2. 小売業種と小売業態の違いを説明せよ。
3. 間接流通と直接流通の違いについて述べよ。
4. 日本におけるコンビニエンスストア業態の登場について、真空地帯仮説を用いて説明せよ。
5. 小売業の役割について、説明せよ。

この部分は記入しないこと。

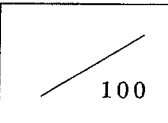
(裏面は、ここから解答すること)

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	流通論
試験実施日	2024年9月3日
解答又は解答例及び出題意図 (試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)	
<p>【出題意図】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通概念を正しく理解しているかどうかを問う。 2. 商業者に関する基礎的な知識を問う。 3. 流通チャンネルに関する基礎的な知識を問う。 4. 新業態の登場に関する仮説を問う。 5. <p>【解答例（採点時の観点）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通が架橋する懸隔を理解しているか、懸隔と物流、商流との対応を正しく理解しているか、の観点で採点する。 2. 業種と業態の違いを正しく理解できているか、またどうして業種と業態による分類が存在しているかを理解しているか、という観点で採点する。 3. 間接流通と直接流通のそれぞれの特徴、長所と短所を正しく記述できているか、という観点で採点する。 4. コンビニエンスストアを小売の輪仮説で説明できない業態として認識しているか、真空地帯仮説との違いはどの点にあるのか、を正しく説明できているか、との観点で採点する。 5. 小売業の役割を、供給側と需要側に区分して、それぞれ正しく説明できているかとの観点から採点する。 	

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	経営組織論

採 点	
--------	---

受 験 番 号

(時間 60 分)

【問題】以下の設問に答えよ

「組織の環境適応」問題を扱う代表的な組織論のフレームワークを複数(3つ以内)取り上げ、その特徴と問題点について説明せよ。

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	経営組織論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

「組織の環境適応」問題は組織論の最重要テーマの1つである。組織が環境変化に適応する際の代表的なフレームワークは複数存在するが、それらの基本的な特徴をどの程度理解しているかを問うものであった。

【解答例（採点時の観点）】

「組織の環境適応」に関するフレームワークには代表的なものが複数あるが、それらの中で「コンティンジェンシー理論」と「ポピュレーション・エコロジー・アプローチ」を取り上げる。

まず、コンティンジェンシー理論について述べる。この理論は「環境変化に適合した組織構造を採用すれば、組織は好業績を上げることができる」と主張している点に特徴があり、キー概念は「適合」である。特に初期の主張では、環境と組織構造の関係だけを抽出し組織成果との関係を取り上げていた。例えば、バーンズ＝ストーカーの研究によると、環境変化が激しい業界（エレクトロニクス業界）には横断的コミュニケーションが活発な「有機的組織」が、環境が安定している業界（繊維業界）には官僚制の特徴に近い「機械的組織」が、それぞれ高い成果を上げていた。

しかし、この主張にこそこの理論の大きな問題点が含まれている。それは、組織は環境変化が起こった後にしか環境に適応できない「環境決定論」という問題点と、環境変化にどのようにして適応したのかのプロセスが示されない「静態論」という問題点である。これらの問題点は組織の環境適応に決定的に重要な役割を果たす「戦略」の存在が無視されていたことに起因している。故に、この点を改善したいわば「ポスト・コンティンジェンシー理論」がいくつか登場するが、その代表的な研究としてはマイルズ＝スノーの「戦略型経営」が挙げられるであろう。

次に、ポピュレーション・エコロジー・アプローチについて述べる。この理論は「組織は環境変化になすすべなく適応せざるを得ない」と主張している点に大きな特徴がある。環境変化の影響力が重視され、組織はそれに対抗する力を持っていないとする考え方である。代表的な研究はハナン＝フリーマンによるものである。

キー概念は「組織慣性」である。これは組織を現状に留まらせる力をあらわし、環境変化に適応した組織だけが生き残るという、ダーウィンの「自然淘汰」の考え方が強く反映されている。この組織慣性は組織の外部、内部にともに存在している。組織外部のものとしては、参入障壁、退出障壁が挙げられる。参入障壁は例えば「規模の経済」、「範囲の経済」、「経験曲線効果」など、多大な費用と時間を要することによって発生する利点があると、新規参入企業にとって多大な費用が発生することから、参入動機が大きく低下してしまう要因であり、退出障壁とは生産終了後の製品のアフターサービスの継続や転用不能な設備（例えば製鉄所の高炉）の所有などによりその市場からの撤退

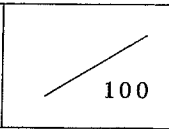
を困難にする要因が含まれる。組織内部のものとしては、重要な要因として「埋没費用」(sunk cost)の回避が挙げられる。埋没費用とは、既存の事業を継続する限り発生しないがそれを止めた途端に回収不能となる費用である。そのため、業績が思わしくなくなっても現状にコミットする状態が継続しやすくなってしまふ。その他にも組織内の派閥争いや戦略的近視眼の状態になり、組織内部で新知識獲得のための行動が取られなくなってくることも要因として挙げられるだろう。

このアプローチの問題点は何と云っても経営者の意思決定(戦略)を極端に軽視している点にある。1つの業界の中で複数の競争戦略が存在するのは、それぞれの企業の経営者が主観的に環境を選び取っているからであり、その産業がある意味健全な状態にあるといえるためだ。

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	マーケティング論

採 点	
--------	---

受験番号

--

(時間 60 分)

◎全ての問題に解答すること（裏面にも問題あり）。きれいな文字で解答すること。

1. 20世紀初頭から今日までのマーケティング研究の変遷を述べよ。

2. マーケティングにおける競争的使用価値とは何か、説明せよ。

3. 流通チャネルにおけるパワーの依存モデルと資源モデルの違いを示せ。

4. ブランド・アイデンティティとは何か、示せ。

【裏面に続く】

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

5. BCGのPPMは、自社の製品あるいは事業を2つの軸で整理したものである。その2つの軸は何か、またその2つのそれぞれについて、製品、事業の何を明らかにしようとしているのかを示せ。

6. 製品ライフサイクルの成長期におけるマーケティング主体の戦術を根拠とともに示せ。

7. 消費者行動研究における態度と意図の違いを示せ。

8. 企業がマーケティング近視眼に陥ってはいけない理由を、マーケティング近視眼の定義とともに示せ。

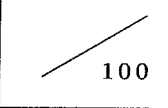
以上

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	マーケティング論
試験実施日	2024年9月3日
解答又は解答例及び出題意図 (試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)	
<p>【出題意図】</p> <p>本科目の出題は、大学院修士課程の入学試験ゆえ、マーケティング論および関連科目の流通論、消費者行動論で大学で学ぶ知識（入門から中級程度）が身につけているか、否かを確認することを意図している。</p> <p>【解答例（採点時の観点）】</p> <p>本試験は、大学院の入試ゆえに模範解答を示すことはしない。しかしながら、各問題についての採点時のポイントを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アメリカにおけるマーケティングの誕生から、製品計画の台頭期を経て、関係性マーケティングが登場するまでの変遷が書かれているかを採点時のポイントとした。 2. 石原武政（1982）『マーケティング競争の構造』、千倉書房で示されている競争的使用価値の概念を理解しているかを採点時のポイントとした。 3. 石井淳蔵（1983）『流通におけるパワーと対立』、千倉書房で示された流通におけるパワーの依存モデル、資源モデルを理解できているかを採点時のポイントとした。 4. ケラーあるいはアーカーの当該概念を理解できているかを採点時のポイントとした。 5. 当該概念について、沼上幹（1999）『わかりやすいマーケティング戦略』で解説されている程度の理解がされているかを採点時のポイントとした。 6. PLCの成長期の特徴である競争の激しさについて理解しているかを採点時のポイントとした。 7. 態度と意図について消費者行動の教科書レベルの理解ができているかを採点時のポイントとした。 8. レビットが示した当該概念について理解しているかを採点時のポイントとした。 <p style="text-align: right;">以上。</p>	

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	簿記論

採 点	
--------	---

受験番号

(時間 60 分)

問題1 以下の株式会社の取引を仕訳しなさい。なお、会計期間は4月1日~3月31日の1年である。

(1)①×4年6月30日(当社の個別財務諸表の処理)。得意先甲社に製品Xを1個当たり¥2,000で150個販売し、代金は翌月25日に受け取ることにした。なお、当社は、得意先甲社が製品Xを四半期累計で1,000個以上購入した場合には、得意先甲社の購入金額の5%をリベートとして支払う契約を締結している。本日の販売によって、得意先甲社への製品Xの第1四半期の累計販売数量が1,000個となったため、当該1,000個分のリベートの支払を翌月末に行うことにした。なお、前日までの処理は、リベートの条件達成の可能性が高いものとしてすべて正しく行われている。また、製品Xの販売価格は第1四半期を通じて¥2,000で変動はない。

借方		貸方	
勘定科目	金額 (単位:円)	勘定科目	金額 (単位:円)

②×4年7月31日(当社の個別財務諸表の処理)。上記リベートについて小切手を振り出して支払った。

借方		貸方	
勘定科目	金額 (単位:円)	勘定科目	金額 (単位:円)

(2)①×4年10月1日(当社の個別財務諸表の処理)。満期保有目的で乙社の社債¥3,000,000を@¥100につき@¥97で購入し、端数利息を含む代金は小切手を振り出して支払った。当該社債の利率は年2%であり、利払日は5月末日及び11月末日の年2回、満期日は×7年9月30日である。取得価額と額面金額との差額は金利の調整と認められるため、定額法で償却を行うことにしている。なお、利息に関連する計算は全て月割りで行っている。

借方		貸方	
勘定科目	金額 (単位:円)	勘定科目	金額 (単位:円)

②×5年3月31日(決算日/当社の個別財務諸表の処理)。決算整理仕訳を行う。なお、当該社債の時価は@¥100につき@¥98であった。

借方		貸方	
勘定科目	金額 (単位:円)	勘定科目	金額 (単位:円)

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

(3) ×5年3月31日(決算日/当社の個別財務諸表の処理)。×4年12月1日に¥6,000,000で購入した新生産管理システムのソフトウェアを稼働させ、旧システムのソフトウェアは除却した。新システムのソフトウェアの購入処理は正しく行われているが、それ以外の処理は行われていないため必要な処理を行う。なお、ソフトウェアは全て耐用年数5年の定額法で償却を行っており、旧システムのソフトウェアの期首残高は、¥960,000(期首時点で取得後3年経過)であった。

借方		貸方	
勘定科目	金額(単位:円)	勘定科目	金額(単位:円)

問題2 カッコの中に用語を記入して、以下の文章を完成しなさい。なお、同じ番号のカッコの中には同一用語が入る。

棚卸資産については、原則として(①))又は製造原価に引取費用等の(②))を加算して(③))とし、(④))法、(⑤))法、(⑥))法等の評価方法の中から選択した方法を適用して売上原価等の払出原価と期末棚卸資産の価額を算定する。通常の販売目的で保有する棚卸資産は、(③))をもって貸借対照表価額とし、期末における(⑦))が、(③))よりも下落している場合には、当該(⑦))をもって貸借対照表価額とする。この場合において、(③))と当該(⑦))との差額は当期の(⑧))として処理する。

問題3 次の各文章について、正しいものには○、誤っているものには×を付しなさい。

顧客との契約から生じる収益は、履行義務を充足した時に又は充足するにつれて認識するが、当該履行義務は、所定の要件を満たす場合には一定の期間にわたり充足され、所定の要件を満たさない場合には一時点で充足される。

資産及び負債の項目の配列は、原則として、流動性配列法によるものとするが、いわゆる別記事業を営む株式会社等が当該事業の所管官庁に提出する財務諸表の用語、様式及び作成方法について特に法令の定めがある等の場合には、流動性配列法によらなくてもよい。

有形固定資産の取得のために約束手形を振り出した場合、当該手形は企業の主目的たる営業取引により発生した債務であるので、流動負債に計上される。

企業会計は、企業の財政状態及び経営成績に関して、真実な報告を提供するものでなければならない。従って、企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合、これに備えて適当に健全な会計処理をすることは認められない。

以上

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	簿記論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

本試験は、経営学研究科のアドミッションポリシーに基づき、受験者が簿記論の分野における専門知識に関して基礎的知識を有しているかを確認することを目的としている。

設問は、大問3問から構成されており、1問目は、簿記論に関する基礎的知識を有しているかを確認するため、基本的な取引に関する仕訳を問う形式とした。2問目は、当該仕訳の前提となる基準等の記載内容を正確に理解しているかを確認するため、基準等の用語を問う穴埋め問題形式とした。3問目は、当該基準等に基づく制度会計の内容やその前提となる会計理論等を正しく理解しているかを確認するため、正誤問題形式とした。

【解答例（採点時の観点）】

問題1

(1)①

借方		貸方	
勘定科目	金額（単位：円）	勘定科目	金額（単位：円）
売掛金	300,000	売上	285,000
		返金負債	15,000
返金負債	100,000	未払金	100,000

②

借方		貸方	
勘定科目	金額（単位：円）	勘定科目	金額（単位：円）
未払金	100,000	当座預金	100,000

(2)①

借方		貸方	
勘定科目	金額（単位：円）	勘定科目	金額（単位：円）
満期保有目的債券	2,910,000	当座預金	2,930,000
有価証券利息	20,000		

②

借方		貸方	
勘定科目	金額（単位：円）	勘定科目	金額（単位：円）
未収収益	20,000	有価証券利息	20,000
満期保有目的債券	15,000	有価証券利息	15,000

(3)

借方		貸方	
勘定科目	金額 (単位:円)	勘定科目	金額 (単位:円)
ソフトウェア償却	720,000	ソフトウェア	1,360,000
ソフトウェア除却損	640,000		

問題2

- ①購入代価 ②付随費用 ③取得原価 ④個別 ⑤先入先出 ⑥平均原価
⑦正味売却価額 ⑧費用

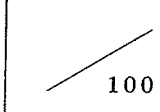
問題3

○ ○ × ×

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	財務会計論

採 点	
--------	---

受験番号

(時間 60 分)

問題1 以下の会計用語を説明しなさい。

(1) 確定拠出制度と確定給付制度 (退職給付会計)

(2) 資本取引、損益取引、資本剰余金、利益剰余金

問題2 「税効果会計に係る会計基準」(以下、「基準」という)に関連して、以下の問いに答えなさい。なお、解答に際しては、

必ず設問の番号(1)、(2)、(3)、(4)や①、②を記すこと。

(1) 税効果会計の必要性について説明しなさい。

(2) 一時差異と永久差異についてそれぞれ説明しなさい。

(3) ① 税効果会計には2つの処理方法があるが、その2つの名称を示し、それぞれの内容について説明しなさい。

② 税効果会計の処理方法として、「基準」が採用している方法の名称を示し、その方法の長所について説明しなさい。

(4) ① 「基準」のもと計上される繰延税金資産の資産性と、繰延税金資産の回収可能性に関する判断基準についてそれぞれ説明しなさい。

② 繰延税金負債の負債性が認められる理由について説明しなさい。

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

Blank lined area for writing answers.

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	財務会計論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

大学院修士課程における研究に必要な会計知識や能力を確認するため、大問2問構成による理論問題を出題した。

大問1問目では、基本的な会計用語の説明を求めた。小問2問からなり、近年の会計分野における重要な論点である企業結合及び包括利益に関する基礎知識があるかを確認した。

大問2問目は、小問4問から構成され、やはり近年の重要な論点を扱う「金融商品に関する会計基準」を取り上げた。ここでは、会計基準に関する知識だけでなく、自分の考えを論理的にまとめることができるかも確認することとした。

【解答例（採点時の観点）】

大問1問目は会計用語の説明を求めるものであるが、用語について解答例を示すと分量が多くなるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。

小問1問目は、企業会計基準第21号「企業結合に関する会計基準」に係る会計用語であり、のれんと負ののれんは中でも重要な用語となる。のれんと負ののれん各々に関する意義や会計処理等について、「基準」に沿って、理論的にしっかりと理解された上で説明がなされているかが採点の基準となる。

小問2問目は、企業会計基準第25号「包括利益の表示に関する会計基準」に係る会計用語であり、包括利益とその他の包括利益は其中で中心となる用語である。包括利益とその他の包括利益各々の意義等について、「基準」に沿って、理論的にしっかりと理解された上での説明となっているかが採点の基準となる。（包括利益計算書についての言及もなされていてよい。）

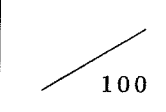
大問2問目は、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」からの出題で、ここでは売買目的有価証券・満期保有目的の債券・子会社株式及び関連会社株式・その他有価証券の4種類の有価証券を取り上げている。各々の有価証券について、期末評価方法とその評価方法が採用される理由の説明を求め、小問4問構成の基本的な問題となっている。それらについての解答例をすべて示すと分量が多くなるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。

この会計基準に基づく有価証券の期末評価方法の特徴は、有価証券を保有目的別に区分し、その保有目的ごとに会計処理を規定している点にある。そこで、売買目的有価証券・満期保有目的の債券・子会社株式及び関連会社株式・その他有価証券について、それぞれの保有目的をきちんと説明することができるかが採点の基準となる。そして、それぞれの保有目的に応じて、貸借対照表価額や評価差額の取扱い等について説明することができるかも採点の基準となる。

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	アジア企業論

採 点	
--------	---

受験番号

(時間 60 分)

以下の問いに答えなさい。解答にあたって、設問番号を明記すること。

問1 以下の(1)、および(2)の用語を解説しなさい。

- (1) ボーン・グローバル・ファーム Born global firm
- (2) ムーアの法則 Moore's law

問2 以下の(1)、および(2)について論述しなさい。

- (1) 競争ダイナミクス Competitive dynamics とは何か。マイケル・ポーターの競争戦略論 (SCP パラダイム) との違いを中心に論述しなさい。
- (2) 日本企業とアジア企業との間の競争の具体的なケースを一つ取り上げ、既存大企業がラディカル・イノベーションにうまく適合できない要因について論述しなさい。

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	アジア企業論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

問1は、アジア企業や国際経営に関連する用語の知識を問うものであり、問2はアジア企業経営を研究していく上で必要となる経営学の基本的な理論や概念の理解を問うものである。

問1(1)

近年の国際経営研究で注目されている、設立後数年で海外展開するボーン・グローバル・ファームについての知識。

問1(2)

韓国、台湾等の主要産業の一つである半導体産業に関する基本的知識。

問2(1)

戦略論についての基本的な理解。

問2(2)

イノベーション論についての基本的な理解。

【解答例（採点時の観点）】

問1については用語解説問題のため割愛。問2の採点のポイントは以下の通り。

問2(1)

積極的な競争行動を重視する競争ダイナミクスCompetitive dynamicsの議論と、競争のない環境を重視するSCPパラダイムの違いが理解できているか。

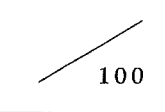
問2(2)

サンクコストの回避や組織内のセクショナリズムの問題等、既存大企業がラディカル・イノベーションにうまく適合できない要因を具体的に挙げた上で、適切な事例分析を行っているか。

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	マネジメント理論

採点	
----	---

受験番号

(時間 60 分)

問題兼解答用紙 (両面印刷) の与えられた解答欄に解答しなさい。

1. 変革型リーダーシップ (transformational leadership) に関する以下の設問(1)と(2)に解答しなさい。

(1) 変革型リーダーシップを構成する複数の異なる側面 (sub-dimensions) について説明しなさい。

(2) (1)での複数の異なる側面と企業のパフォーマンス (company performance) の関係に関する仮説について論じなさい。

解答欄：

(1)

(2)

この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

2. 家族経営企業 (family businesses) の国際化戦略に関する以下の設問(3)と(4)に解答しなさい。

(3) 家族経営企業の国際化の動機を複数挙げてそれぞれについて説明しなさい。

(4) 家族経営企業の国際化の複数の動機と国際化へのコミットメント (commitment) に関する仮説について論じなさい。

解答欄：

(3)

(4)

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	マネジメント理論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

1. (1)の出題意図

変革型リーダーシップが複数の側面から構成されることを理解しているかを確認する。

1. (2)の出題意図

変革型リーダーシップの各側面が企業のパフォーマンスにどのような影響を与える可能性があるのか、これまでに考察したことがあるかを確認する。

2. (3)の出題意図

家族経営企業の国際化に複数の動機があることを理解しているかを確認する。

2. (4)の出題意図

複数の動機がそれぞれ家族経営企業の国際化戦略にどのような影響を与える可能性があるのか、これまでに考察したことがあるかを確認する。

【解答例（採点時の観点）】

1. (1)の解答例

変革型リーダーシップは、①リーダーがフォロワーから尊敬と信頼を獲得し、その模範となる行動を示すといった「理想化された影響力」や②リーダーが魅力的な将来のビジョンを提示し、仕事に意義と挑戦を与えることで、周囲を鼓舞し、意欲を高めるといった「鼓舞的な動機付け」、③リーダーが既存の思考や慣習に対し疑問を投げかけ、革新的かつ創造的な問題解決を促し、新たな視点やアイデアを生み出すことを奨励するといった「知的な刺激」、④リーダーがコーチやメンターとして、フォロワー一人ひとりの成長と達成のニーズに細やかに対応・支援することによって、個々の能力開発やキャリア形成をサポートするといった「個別の配慮」などの側面から構成される。

1. (2)の解答例

(1)で挙げた変革型リーダーシップの4つの側面と企業のパフォーマンスの関係に関して、①「CEOの理想化された影響力は企業のパフォーマンスと正の関係を有する」②「CEOの鼓舞的な動機付けは企業のパフォーマンスと正の関係を有する」③「CEOの知的な刺激は企業のパフォーマンスと正の関係を有する」④「CEOの個別の配慮は企業のパフォーマンスと正の関係を有する」といった仮説を提示できる。これらの仮説は、CEOをはじめとする上級管理職のリーダーシップ行動が組織の戦略、意思決定、そして企業のパフォーマンスに影響を与えるという理論的枠組みに基づいている。

2. (3)の解答例

家族経営企業の国際化の動機として、①コスト削減や利益率の向上、売上高の拡大などを通じて企業の経済的な価値を最大化しようとする「経済的動機」や②競合他社の動向への対応や競争上の地位の強化、リスクの分散などを通じて企業の長期的な競争優位性

を確立しようとする「戦略的動機」、③家族のニーズへの対応や家族と事業にとって有益な関係の維持・強化、家族の名声維持などを通じて家族全体の幸福を追求しようとする「家族的動機」などが挙げられる。

2. (4)の解答例

まず、国際化によって短期的な利益が減少する可能性がある場合、家族経営企業は国際化をためらうことがあることや、家族経営企業が外部からの資金調達や経営への干渉を嫌う場合、国際化の制約となることもある。次に、海外市場でのブランド価値向上や新たな技術・知識の獲得を目指して国際化を選択することがあることや、国際化によってリスクを分散し、企業の安定性を高めることもある。さらに、家族のメンバーの海外でのキャリア形成や家族のブランドイメージの向上を目指して国際化を選択することがあることや、国際化によって次世代への事業承継を円滑に進めることもある、といった家族経営企業の行動に関連して、順に、①「経済的動機は家族の関与が国際化へのコミットメントにつながることを抑制する」や②「戦略的動機は家族の関与が国際化へのコミットメントにつながることを促進する」、③「家族的動機は家族の関与が国際化へのコミットメントにつながることを促進する」などの仮説を提示できる。

愛知大学大学院 入学試験<経営学研究科>

修士課程

経営学研究科	<一般入試>
専門科目	
科目名	情報処理論

採点	/
点	

受験番号

(時間 60 分)

設問 1. 以下の語句について違いや説明をなさい。

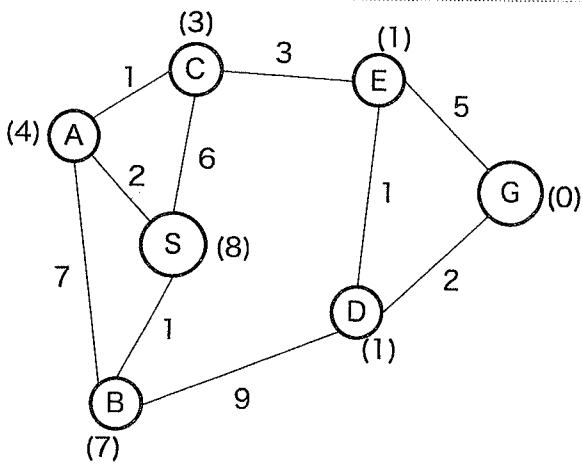
(a) ハミング距離と編集距離の違い

(b) マルコフ過程とマルコフ決定過程の違い

(c) 教師あり学習、教師なし学習、強化学習のそれぞれの特徴と違い

(d) フレーム問題とはどのような問題か

設問 2. 下記のグラフにおいてノード S からノード G までの最短経路を A* アルゴリズムを使って探索する際の、オープンリストとクローズドを示し、さらに最短経路を求めなさい。ここで、エッジ (辺) に書かれている値は、そのエッジを移動するのにかかるコストを、ノードに書かれている括弧内の値は予測評価値 (ヒューリスティック) を意味する。なお、解答には裏面を使ってもよい。



この部分は記入しないこと。

(裏面は、ここから解答すること)

設問 2 解答欄 (続き)

設問 3. 以下の囚人のジレンマの例を使って、ナッシュ均衡とパレート最適について説明しなさい。なお、囚人のジレンマとは囚人 2 人

(A と B) が別々の牢屋に捕まっており、以下のような条件にいる際のそれぞれが選ぶ行動について考えるものである。

- 2 人とも黙秘した場合、両方とも懲役は 3 年
- いずれか一方が自白した場合、懲役は自白した方は 1 年、黙秘した方は 8 年
- 2 人とも自白した場合、両方とも懲役は 5 年

懲役についての表

囚人 A/囚人 B	B が自白	B が黙秘
A が自白	A 5 年、B 5 年	A 1 年、B 8 年
A が黙秘	A 8 年、B 1 年	A 3 年、B 3 年

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経営学研究科
専攻・コース等	経営学専攻
入試方式	一般及び外国人留学生の入学試験
科目名	情報処理論
試験実施日	2024年9月3日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

本試験は、情報処理・人工知能に関する基礎知識と、論理的説明力を評価することを目的とする。

設問1：基本概念の理解と説明能力

類似概念や関連概念の厳密な違いを説明できるかを確認する。

設問2：探索アルゴリズムの理解と手続き記述能力

A* アルゴリズムを手順通りに実行できるか、また、結果を正しく導けるかを問う。

設問3：ゲーム理論的思考と応用力

「囚人のジレンマ」を題材とし、ナッシュ均衡とパレート最適の違いを理論的に説明できるかを評価する。

情報科学的知識と経営上の意思決定に関連する論理推論能力を総合的に測定する。

【解答例（採点時の観点）】

設問1

(a) ハミング距離と編集距離の違い

ハミング距離は、長さが同じ文字列間で、同じ位置で異なる文字の数を数える指標。一方、編集距離は、挿入・削除・置換の回数を最小化して文字列を一致させる変換コスト。（長さが異なる場合も可）

(b) マルコフ過程とマルコフ決定過程の違い

マルコフ過程は、次状態が現在の状態のみで確率的に決まる過程。マルコフ決定過程は、エージェントが行動を選択し報酬を得る構造をマルコフ過程に加えたもの。

(c) 教師あり学習、教師なし学習、強化学習のそれぞれの特徴と違い

教師あり学習：入力と正解ラベルに基づき予測モデルを学習。

教師なし学習：正解ラベルなしのデータ構造を抽出。

強化学習：環境と相互作用し報酬最大化の行動方針を獲得。

(d) フレーム問題とはどのような問題か

人工知能における最大の問題の一つと言われている。有限の情報処理能力しかないロボットには、現実には起こりうる問題全てを考慮して対処することができないことを示すものである。言い換えれば、人間は行動決定をする際に行動と無関係の情報は無意識に取り扱わないようにしているが、それらをロボットに実現するのが難しいという問題を表す。

(人工知能やその周辺分野の用語の違いについて理解しているか、またそれを適切に説明できるか)

設問2 A*アルゴリズム

Open(S(8))

→ Open(A(6), B(8), C(9)) / Closed(S)

→ Open(C(6), B(8)) / Closed(A, S)

→ Open(E(7), B(8)) / Closed(C, A, S)

→ Open(D(8), B(8), G(11)) / Closed(E, C, A, S)

→ Open(B(8), G(9)) / Closed(D, E, C, A, S)

→ Open(G(9)) / Closed(B, D, E, C, A, S)

最短経路：S → A → C → E → D → G

コスト：9

(専門用語とアルゴリズムの動作について理解しており、正しく説明できるか)

設問3 囚人のジレンマにおけるナッシュ均衡とパレート最適

ナッシュ均衡は、互いに戦略を変えても利得が改善しない状態。

パレート最適は、誰も損せず誰かの利得を改善できない状態。

囚人のジレンマにおいて、パレート最適はAとBが黙秘することだが、各個人の利益が最大は自白する場合となる。つまり、両方が黙秘すれば3年の懲役となり、どちらか一方が自白しもう一方が黙秘すれば自白した方は1年の懲役で済むため自白をする。しかし、その結果として両方が自白をすると両者とも5年の懲役となる。

したがって、黙秘をするのが両者にとってはよい選択のはずだが自白をすることで不利益を被ってしまうことになる。